

| | | | | | | | |
|------|------------|--------|---|------|-----|-----|-----|
| 科目名 | 経営組織論（ミクロ） | | | | | | |
| 英語科目 | | ナンバリング | (https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照 | | | | |
| 開講期 | 春学期 | 開講学部等 | 経営学部 | 配当年次 | 2年次 | 単位数 | 2単位 |
| 教員名 | 舟津 昌平 | | | | | | |

授業概要／Course outline

この講義では、組織を「経営」することの意義や問題について、理論と実践を結びつけて学ぶ。全ての企業は「組織」であり、人は組織に属せず社会生活を営むことはできない。組織はそのように社会生活において必須であり、かつ、組織が活動するためには「経営」が必要である。この「組織の経営」について、微視的つまりミクロな観点から組織を理解することが本講義の目標である。本講義では経営組織に関する経営学理論を紹介しながら、経営組織論について深い理解を得ることをめざす。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- 学習用のポータルサイトとしてmoodle、動画の共有サイトとしてyoutubeを用いることがある。

授業内容・授業計画／Course description・plan

以下の計画とトピックに従って講義を進めるが、進捗によって変更する場合がある。

第1回 イン트로ダクション

：講義の概要、進め方、目標、評価方法などについて説明する。

★オンデマンド 経営組織論の基礎

- ：経営組織論における基本的な考え方と、カバーする領域を紹介する。
- ：オンデマンド動画の公開の時期は決定次第、講義内で周知する。

第2回 組織の意思決定

：組織論の核である意思決定概念について学習する。

第3回 組織と集団性

：意思決定に影響する集団性概念について学習する。

第4・5回 組織とリーダーシップ(1)(2)

：組織論において重要であるリーダーシップ概念について学習する。

第6・7回 組織とモチベーション(1)(2)

：組織論において重要であるモチベーション概念について学習する。

第8・9回 組織と成果主義(1)(2)

：成果主義について事例をふまえて学習する。

第10・11回 組織と生産性(1)(2)

：組織の生産性について学習する。

第12回 組織と多様性

：現代においてますます重要度が増しているとされる多様性について学習する。

第13回 ミクロ組織論のホット・トピック

：具体的な事例や最新の研究動向など、発展的内容について学習する。

第14回 まとめ

：講義全体の重要な個所を再度確認し、質問に答える。

事前・事後学修／Preparation and assignments

各回の講義にあたっては、「事前学習」と「事後学習」を行うことが求められる。事前学習としては、講義に用いるスライドをあらかじめ共有するので、講義までに読んでおいて、わからないところをはっきりさせておくこと。また本のチャプターや記事を予習教材として配布することがある。事後学習としては、講義の最後に感想や質問を書く時間をつくるので、印象に残った点や疑問点を整理し、講義後も自主的に疑問への調査や主要な論点の整理をすること。時間の目安として、事前学習は講義1回につき1時間、事後学習は2時間が必要である。

第1回 イン트로ダクション

事前：シラバスおよび参考書などに目を通し、講義のイメージをつかむ。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめておく。

★オンデマンド 経営組織論の基礎

事前：事前に共有される講義スライド・動画を確認し、内容について概要をつかんでおく。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめておく。

第2回 組織の意思決定

事前：事前に共有される講義スライドを確認し、内容について概要をつかんでおく。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめておく。

第3回 組織と集団性

事前：事前に共有される講義スライドを確認し、内容について概要をつかんでおく。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめておく。

第4・5回 組織とリーダーシップ(1)(2)

事前：事前に共有される講義スライドを確認し、内容について概要をつかんでおく。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめておく。

第6・7回 組織とモチベーション(1)(2)

事前：事前に共有される講義スライドを確認し、内容について概要をつかんでおく。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめておく。

第8・9回 組織と成果主義(1)(2)

事前：事前に共有される講義スライドを確認し、内容について概要をつかんでおく。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめておく。

第10・11回 組織と生産性(1)(2)

事前：事前に共有される講義スライドを確認し、内容について概要をつかんでおく。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめておく。

第12回 組織と多様性

事前：事前に共有される講義スライドを確認し、内容について概要をつかんでおく。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめておく。

第13回 ミクロ組織論のホット・トピック

事前：事前に共有される講義スライドを確認し、内容について概要をつかんでおく。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめておく。

第14回 まとめ

事前：事前に共有される講義スライドを確認し、内容について概要をつかんでおく。
 事後：講義スライド、参考書などを参考として要点・疑問点について各自まとめ、試験に備える。

授業の到達目標/Expected outcome

組織経営の意義について理解・共感し、特に微視的な考え方を身につけていくこと。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 思考力 ・ 幅広い教養 ・ 倫理性 | <p>専門知識・専門技能</p> <p>【経営学部 マネジメント学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦略と組織の基本知識 ・ 基礎的なマネジメント力 |
|---|---|

履修上の注意／Special notes, cautions

経営管理論など経営学に関する知識があることが望ましいが必須ではない。
言うまでもないが、講義の妨げとなる問題ある行為に関しては厳しく対応する。

評価方法／Evaluation

1～2回行うレポート100%。なお、講義中の発言や任意のレポート提出による加点を予定している。

教 材／Text and materials

参考書等：

舟津昌平（2024）『経営学の技法』日経BP社。

その他、講義中、資料を含め、必要に応じて指示する。